



株式会社アサカ理研

～ 貴金属事業と環境事業により、
地球環境保護に貢献する
「市場創造型企業」～



2011年9月期 第2四半期 決算説明会

説明資料

2011年6月10日

JASDAQ 証券コード 5742

- 第一部 会社概要
- 第二部 2011年9月期第2四半期 決算実績
- 第三部 2011年9月期 業績予想
- 第四部 今後の戦略・研究テーマ

- **第一部 会社概要**
- 第二部 2011年9月期第2四半期 決算実績
- 第三部 2011年9月期 業績予想
- 第四部 今後の戦略・研究テーマ

- ・ 設立 1969年8月
- ・ 資本金 5億4百万円
- ・ 従業員数(単体) 138名(2011年3月31日)
- ・ 主な事業内容 貴金属の回収精製
工業用薬品の製造
- ・ 上場市場 大証JASDAQスタンダード
(コード番号:5724)

貴金属事業

電子部品業界のサポートインダストリー

■ 電子部品等からの
貴金属回収・精製

■ 貴金属成膜装置の
治具・部品
精密洗浄・再生

■ 使用済み歯科材料
等の廃棄品からの
貴金属回収・精製

【お客様】

電子部品メーカー
基板メーカー
商社

■ プリント基板
エッチング液の再生

■ 銅の回収

■ 廃水処理用
沈降剤の製造

■ ろ過材・ろ過システム

■ 光触媒の製造販売

環境事業

環境保全にも貢献するエコインダストリー

貴金属・レアメタルの

選択的剥離技術

独自の薬液配合により金属の溶解速度をコントロール
母材にダメージを与えない洗浄技術

装置部品の機能を維持した
高品質洗浄の実現

溶媒抽出法に代表される

分離・精製技術

スピーディーかつ回収率のよい分離・精製技術である
溶媒抽出法を他社に先駆けて実用化

貴金属の
高い回収率の実現

環境汚染物質を分解する

触媒技術

低コストで環境負荷の少ない汚染物質分解技術

光触媒の
製造に応用

高度水処理材料の製造
及びシステム設計

- 第一部 会社概要
- 第二部 2011年9月期第2四半期 決算実績
- 第三部 2011年9月期 業績予想
- 第四部 今後の戦略・研究テーマ

□ 地震発生後の対応

- 3月11日 東北地方太平洋沖地震(マグニチュード9)発生
→安全確認後、早期再稼動に向けた復旧作業開始
- 3月18日 順次生産を再開
- 4月 1日 通常営業を再開

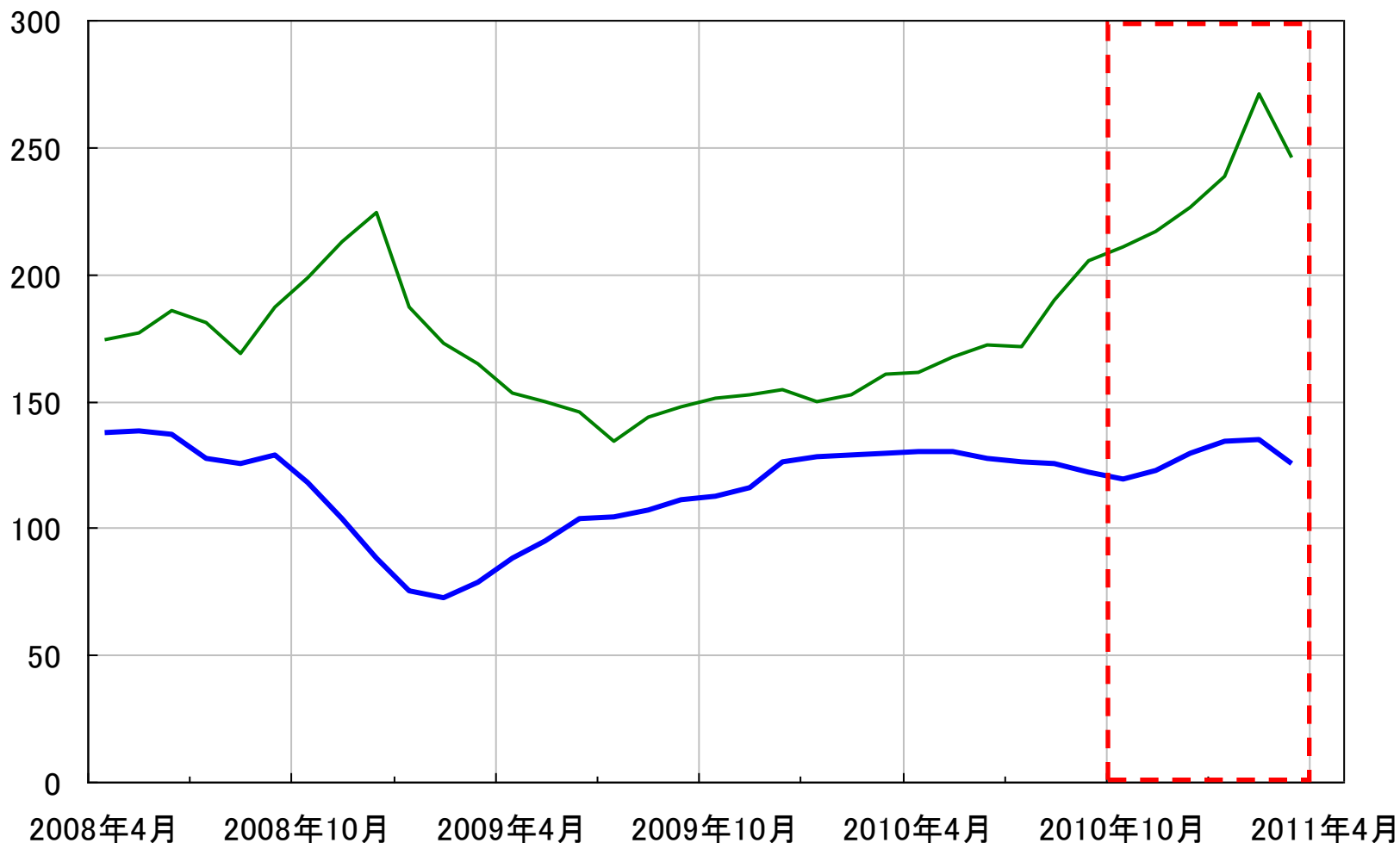
□ 震災の影響

- 本社及び工場の建屋、生産設備が一部破損
- 電気、ガス、水道、通信等のインフラは早期復旧
- 道路の通行規制、ガソリン等の燃料不足による物流事情悪化
→原材料調達、製品出荷への影響
- 震災に関連する特別損失(65百万円)の発生
→資産の原状回復費用36百万円、稼動停止期間中の固定費21百万円など

【電子部品・デバイス工業】

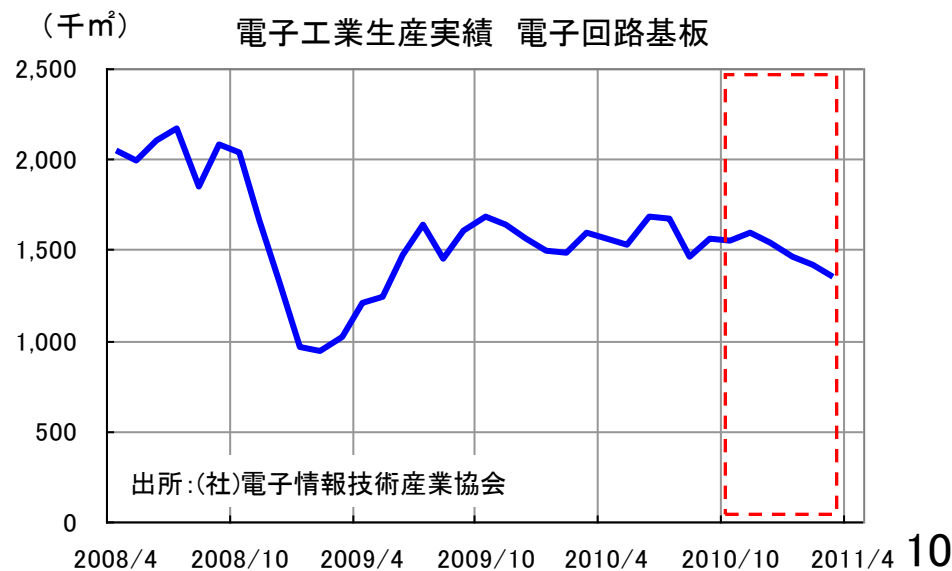
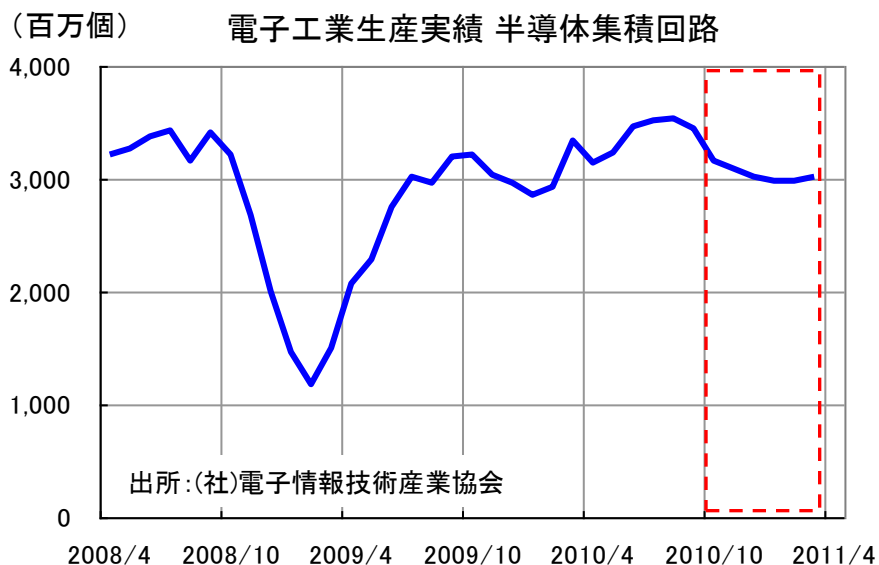
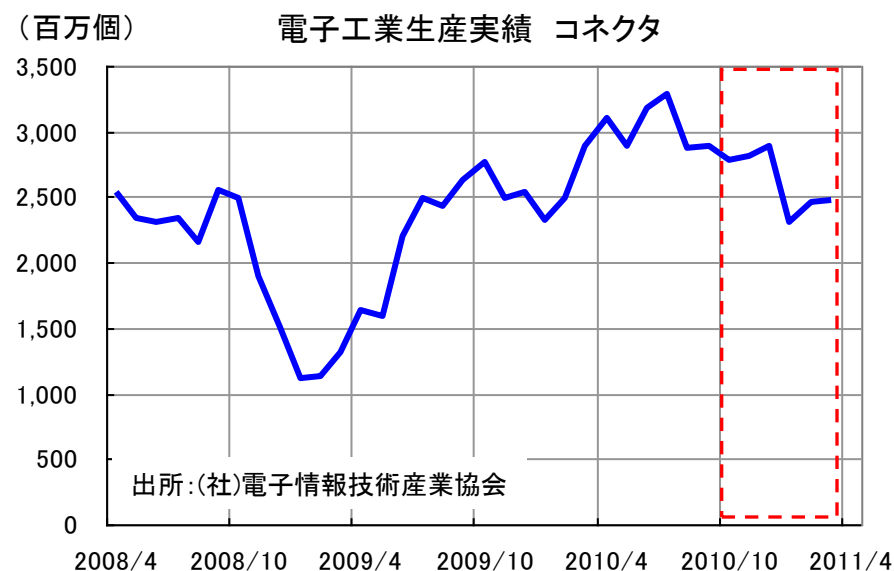
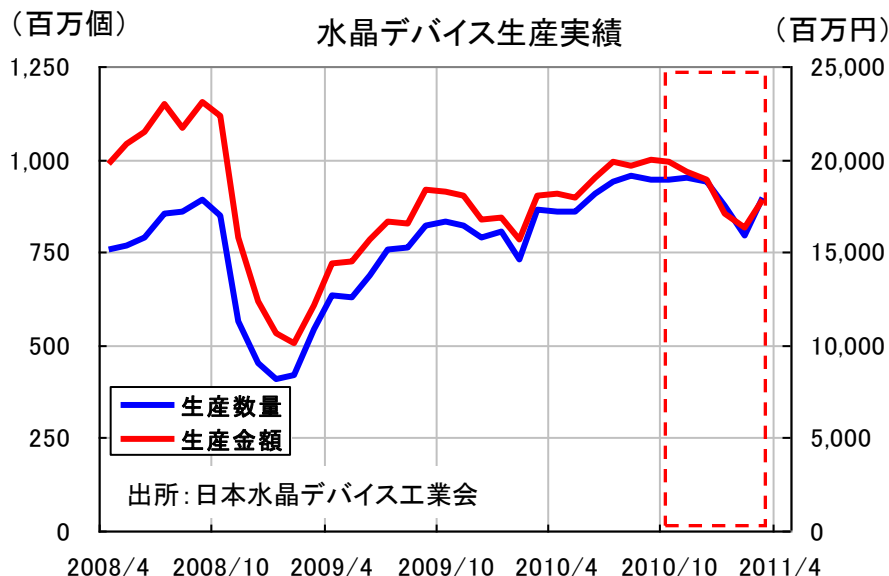
(平成17年=100.0)

生産 在庫

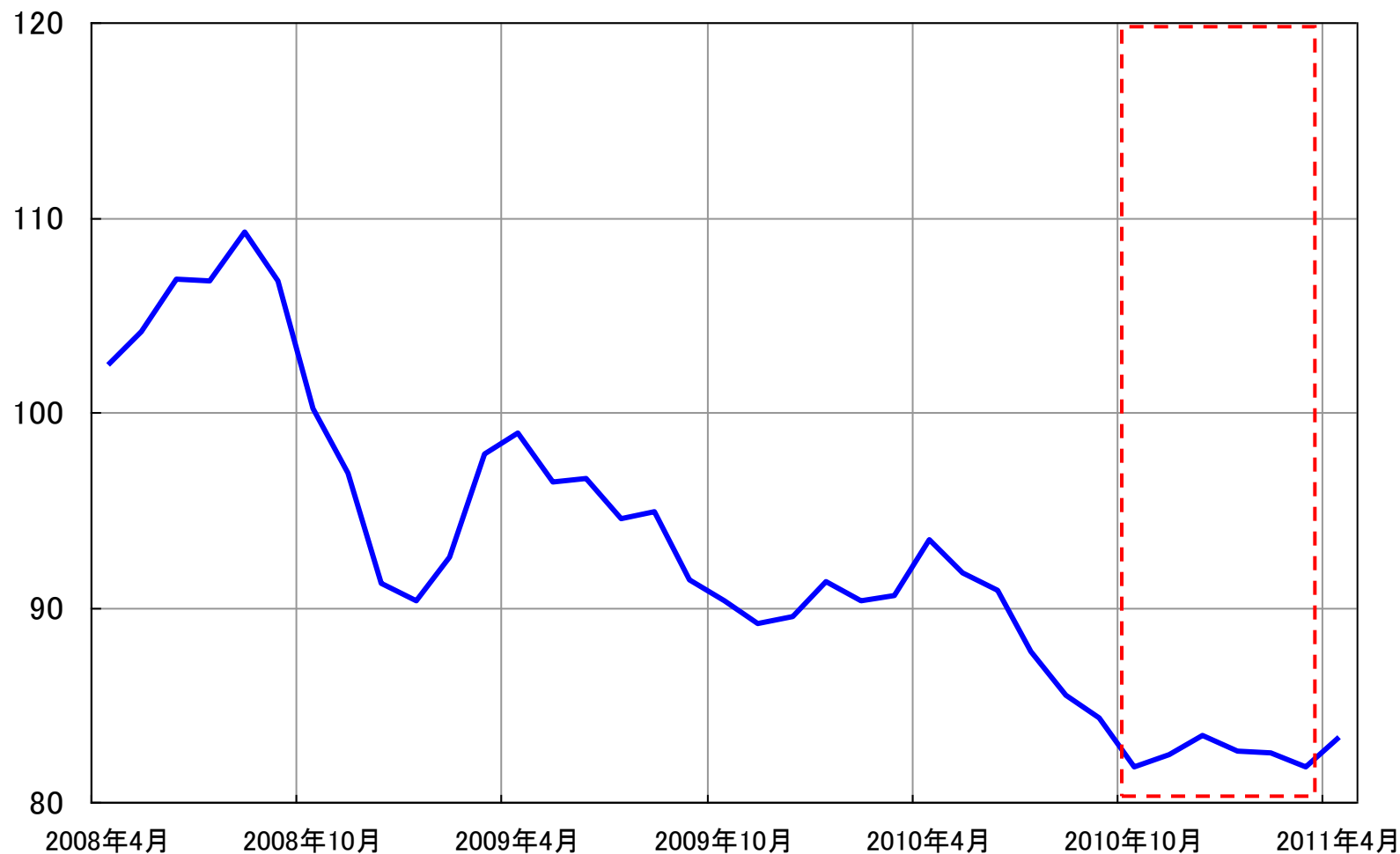


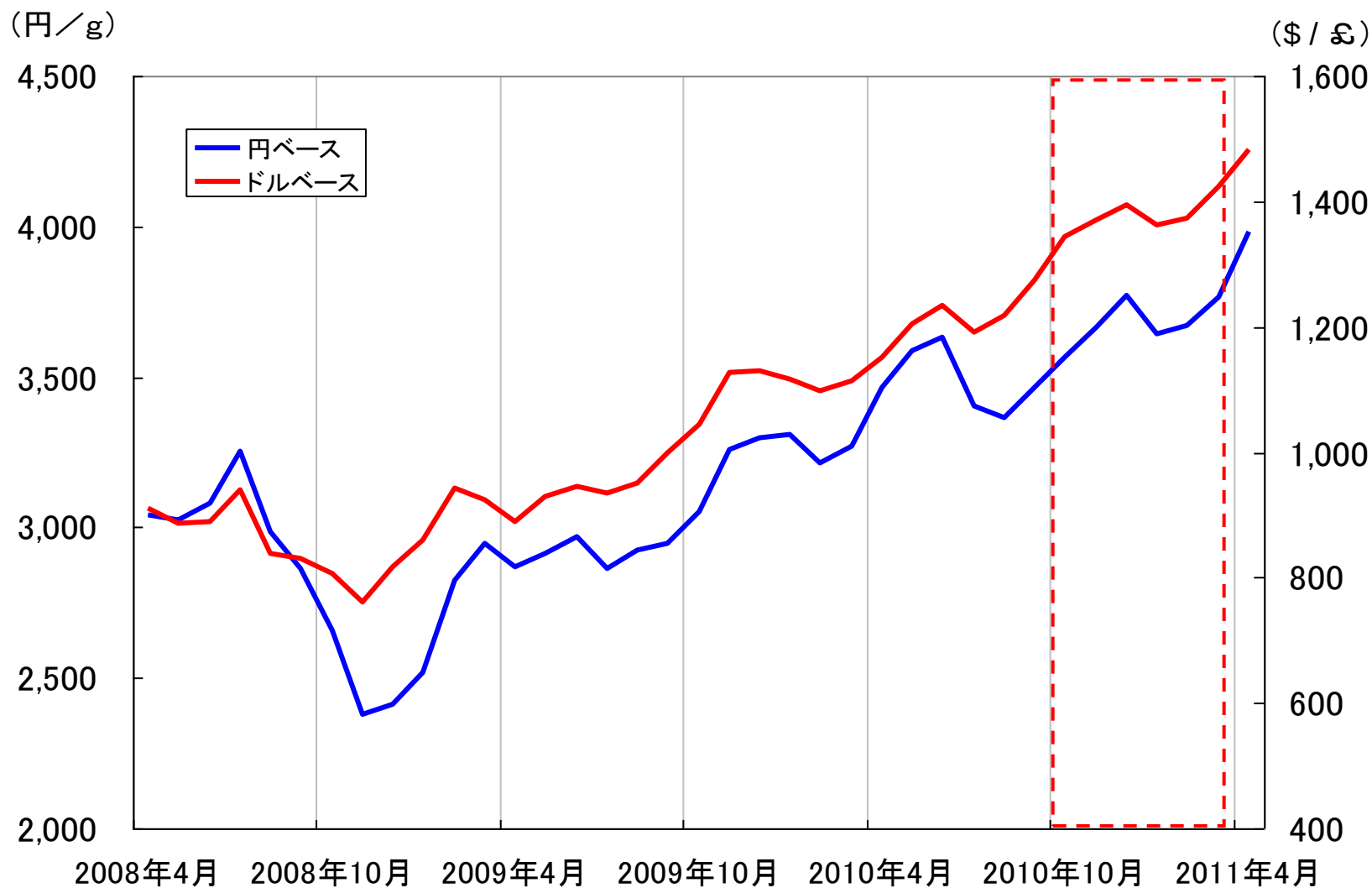
事業環境② 主要顧客が属する業界の生産実績推移

株式会社アサカ理研



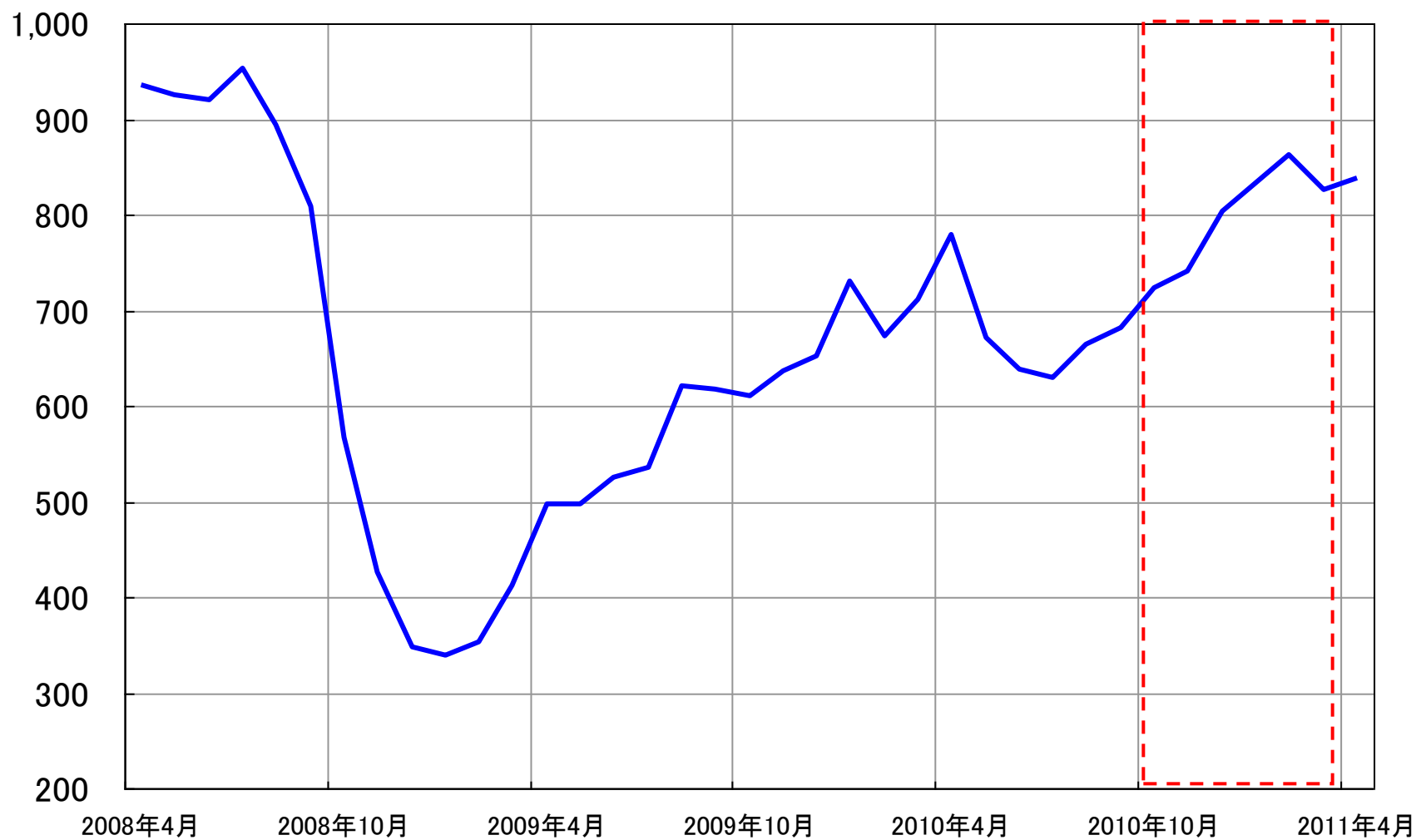
(円／\$)





出所:三菱商事(円ベース) 及び Metalprices.com(ドルベース)

(千円/t)



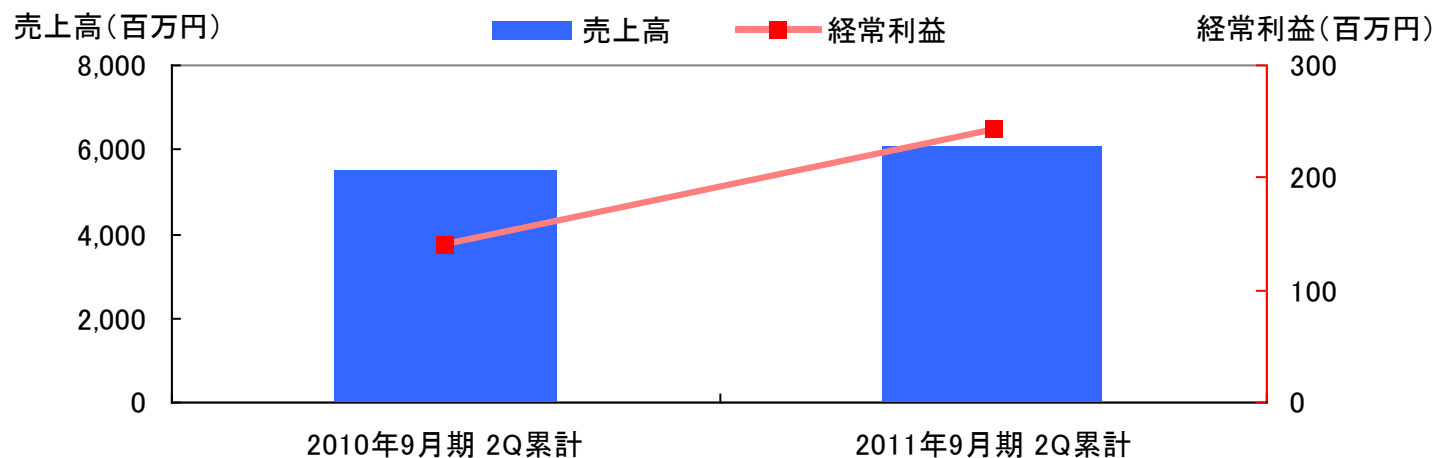
□ 事業環境

- 緩やかな景気回復過程
- 経済対策効果の反動、円高の進行による一服感
- 電子部品・デバイス工業分野の生産は堅調
- 貴金属及び銅相場は高値で推移
- 東日本大震災の発生

□ 業績

- 震災発生前は受注堅調
- 主要製品販売価格上昇
- 震災に関連する特別損失の発生

	2010年9月期 第2四半期累計	2011年9月期 第2四半期累計 期初予想	2011年9月期 第2四半期累計				
			金 額 (百万円)	前年同期比		期初予想比	
				増減額 (百万円)	増減率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売 上 高	5,500	5,905	6,052	551	10.0	146	2.5
売 上 総 利 益	738	817	833	94	12.8	16	2.0
営 業 利 益	140	197	257	116	83.4	59	30.1
経 常 利 益	116	182	243	127	110.0	61	33.5
純 利 益	59	88	20	▲ 38	▲ 64.9	▲ 67	▲ 76.3



セグメント別業績(前年同期比較)

株式会社アサカ理研

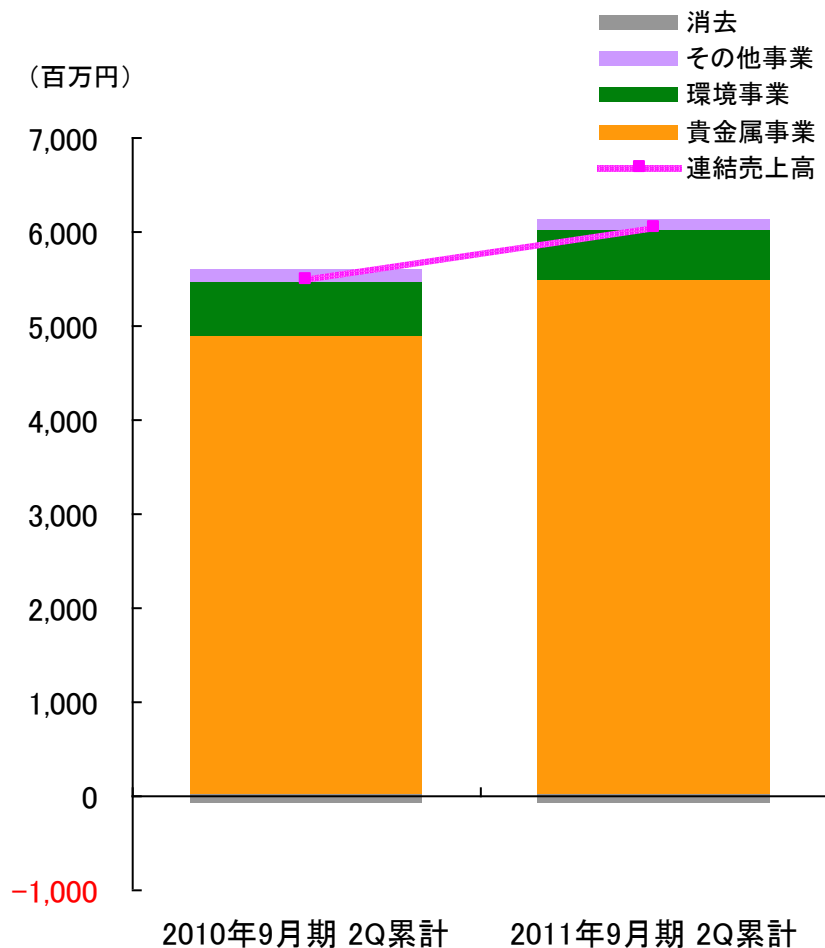
	2010年9月期 第2四半期累計		2011年9月期 第2四半期累計			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
連結売上高	5,500		6,052		551	10.0
貴金属事業	4,897	87.6	5,483	89.4	585	12.0
環境事業	566	10.1	528	8.6	▲ 37	▲ 6.7
その他事業	126	2.3	118	1.9	▲ 8	▲ 6.5
計	5,590	100.0	6,130	100.0	539	9.7
消去・全社	▲ 89		▲ 78		11	—
連結経常利益	116		243		127	110.0
貴金属事業	254	66.4	358	72.2	104	41.2
環境事業	123	32.4	138	27.8	14	11.5
その他事業	4	1.2	▲ 0	▲ 0.0	▲ 4	—
計	382	100.0	497	100.0	114	29.9
消去・全社	▲ 266		▲ 253		13	—

セグメント別業績(期初予想比較)

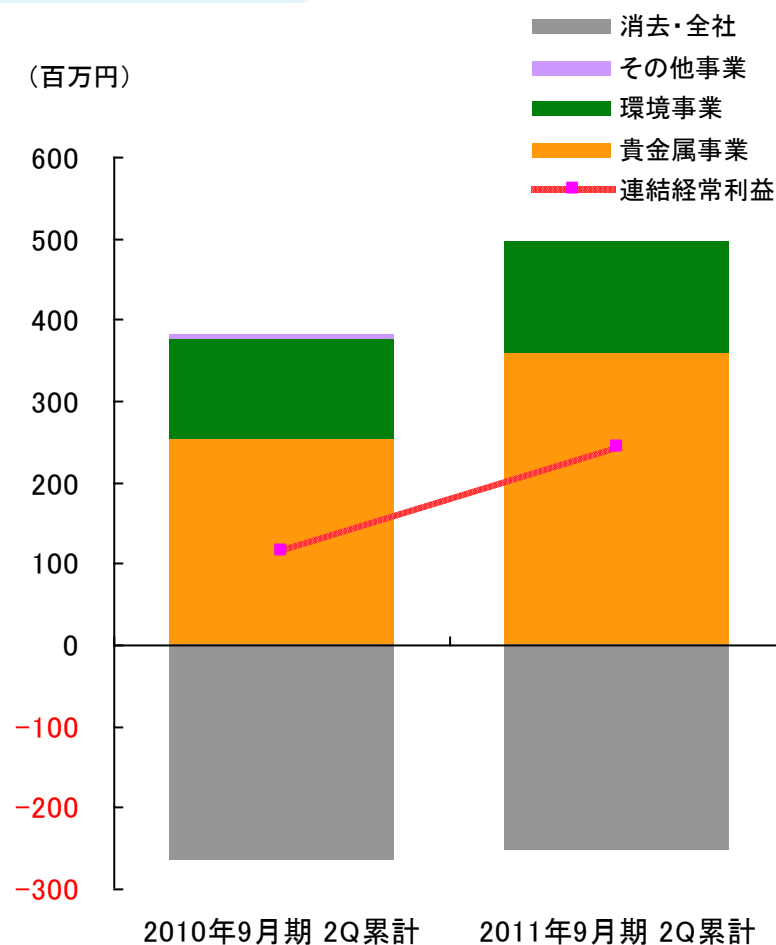
株式会社アサカ理研

	2010年9月期 第2四半期累計 期初予想		2011年9月期 第2四半期累計			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	期初予想比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
連結売上高	5,905		6,052		146	2.5
貴金属事業	5,318	95.1	5,483	89.4	165	3.1
環境事業	549	9.8	528	8.6	▲ 20	▲ 3.7
その他事業	122	2.2	118	1.9	▲ 4	▲ 3.9
計	5,990	107.2	6,130	100.0	140	2.3
消去・全社	▲ 84		▲ 78		6	—
連結経常利益	182		243		61	33.5
貴金属事業	320	83.7	358	72.2	38	12.1
環境事業	119	31.2	138	27.8	18	15.8
その他事業	▲ 0	▲ 0.2	▲ 0	▲ 0.0	0	—
計	439	114.7	497	100.0	58	13.2
消去・全社	▲ 256		▲ 253		3	—

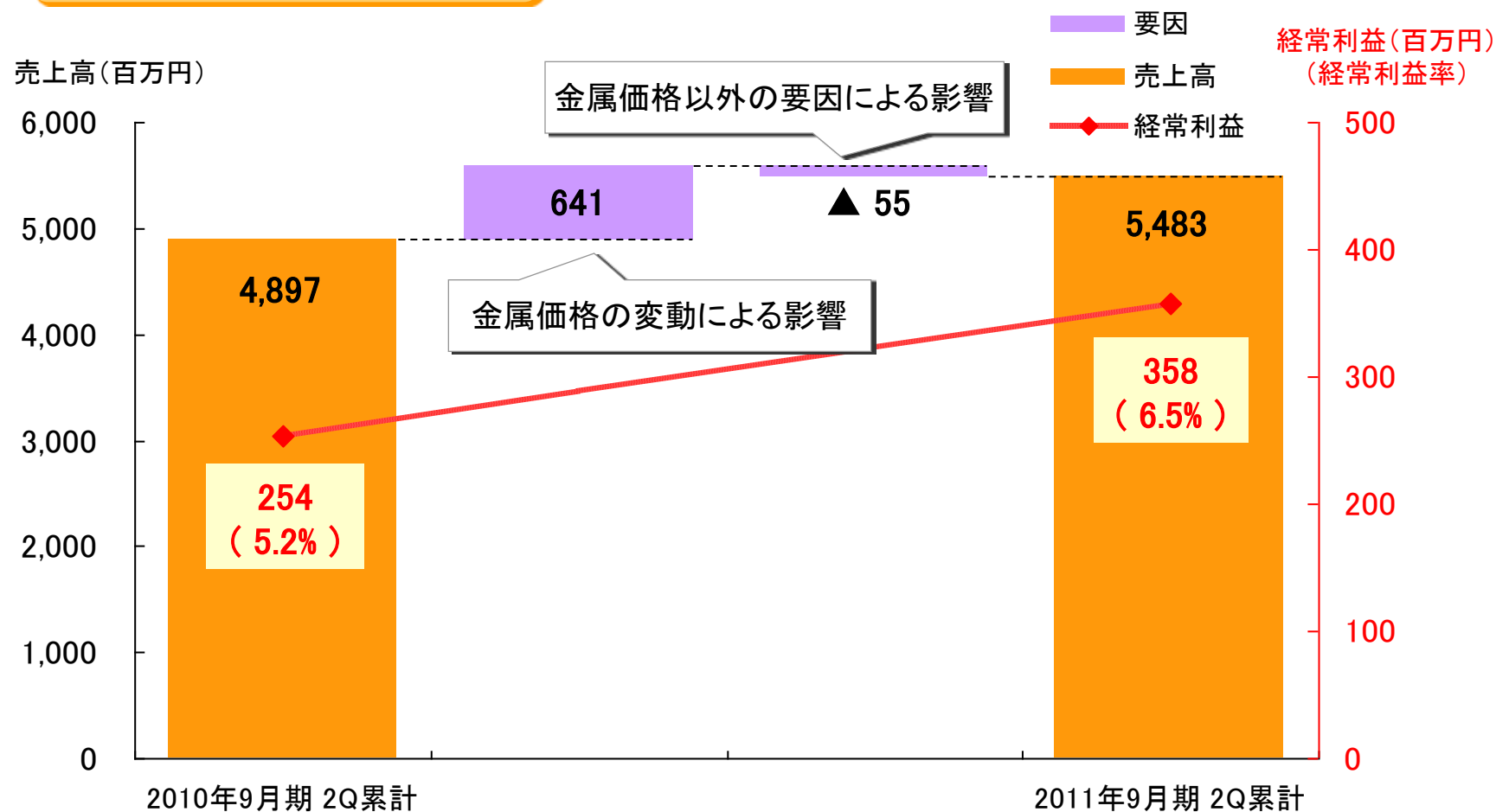
売上高



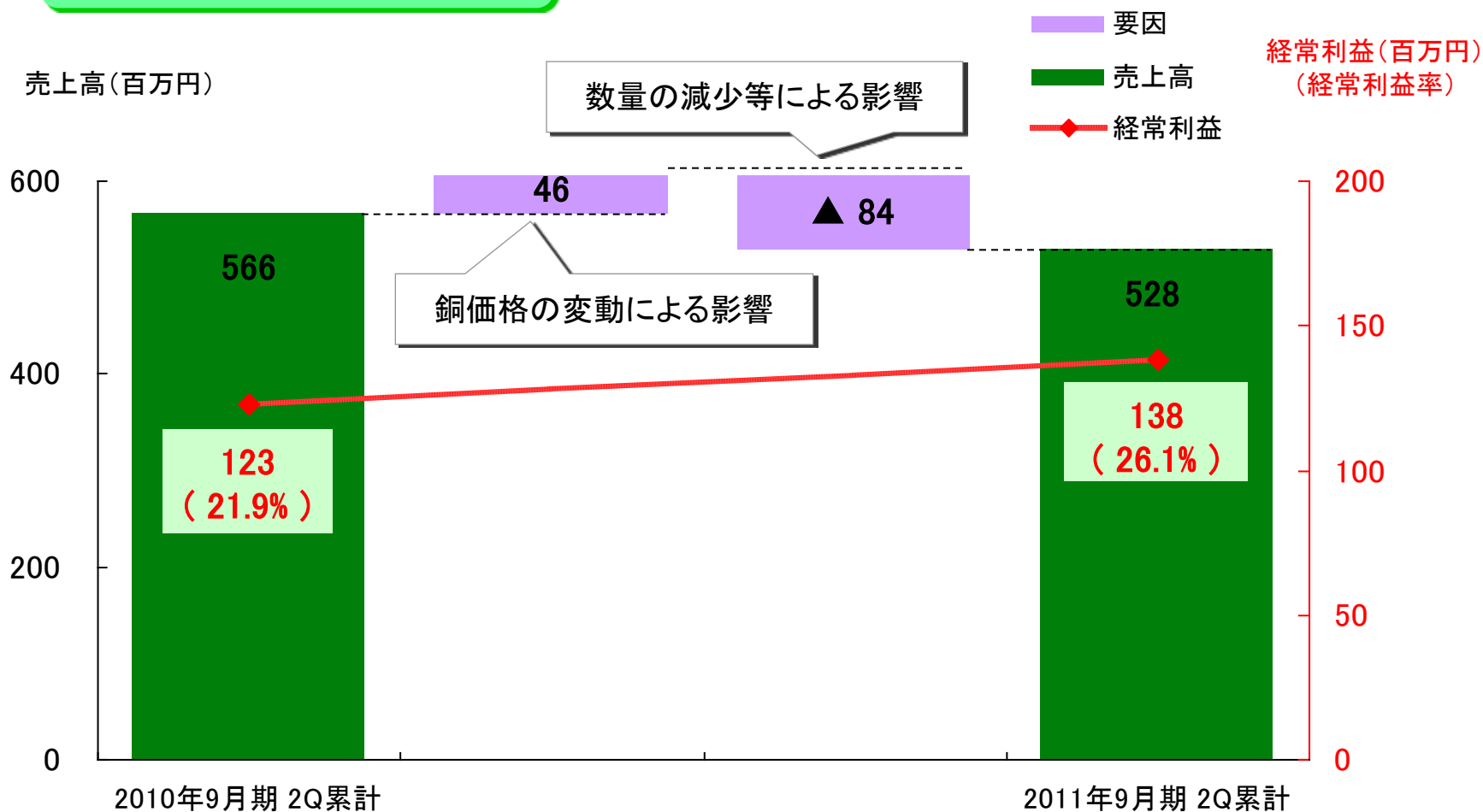
経常利益



貴金属事業



環境事業



連結損益の状況

株式会社アサカ理研

	2010年9月期 第2四半期累計		2011年9月期 第2四半期累計			
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売 上 高	5,500	100.0	6,052	100.0	551	10.0
売上原価	4,761	86.6	5,218	86.2	456	9.6
売上総利益	738	13.4	833	13.8	94	12.8
販管費	598	10.9	576	9.5	▲ 22	▲ 3.7
営業利益	140	2.5	257	4.2	116	83.4
営業外収益	13	0.2	9	0.2	▲ 3	▲ 26.3
営業外費用	37	0.7	23	0.4	▲ 14	▲ 37.9
経常利益	116	2.1	243	4.0	127	110.0
特別利益	0	0.0	—	0.0	0	▲ 100.0
特別損失	1	0.0	144	2.4	143	11,832.8
純利益	59	1.1	20	0.3	▲ 38	▲ 64.9

		2010年9月期末		2011年9月期 第2四半期末		
		金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	前期末比 増減額 (百万円)
資 産	流動資産	3,049	60.3	3,146	61.6	96
	固定資産	2,009	39.7	1,964	38.4	▲ 45
	資 産 合 計	5,059	100.0	5,111	100.0	51
負 債	流動負債	2,332	46.1	2,292	44.8	▲ 40
	固定負債	797	15.8	904	17.7	106
	負 債 合 計	3,130	61.9	3,196	62.5	65
	純 資 産 合 計	1,929	38.1	1,914	37.5	▲ 14
負 債 純 資 産 合 計		5,059	100.0	5,111	100.0	51

資産合計 +51百万円

負債合計 +65百万円

純資産合計 ▲14百万円

現金及び預金+366百万円

受取手形及び売掛金▲198百万円、たな卸資産▲45百万円、有形固定資産▲40百万円

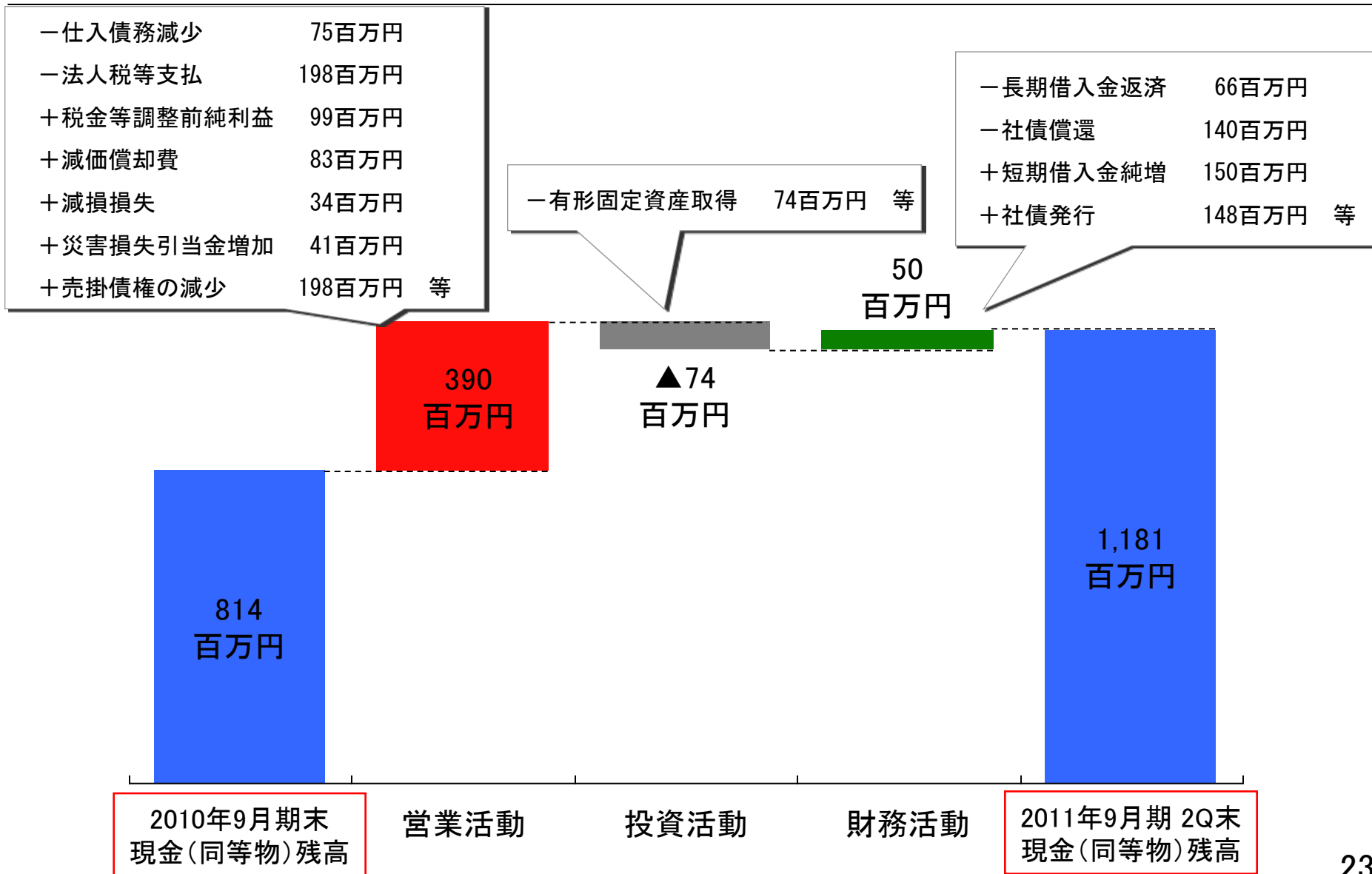
短期借入金+136百万円、災害損失引当金+41百万円

買掛金▲75百万円、未払法人税等▲148百万円

利益剰余金▲16百万円

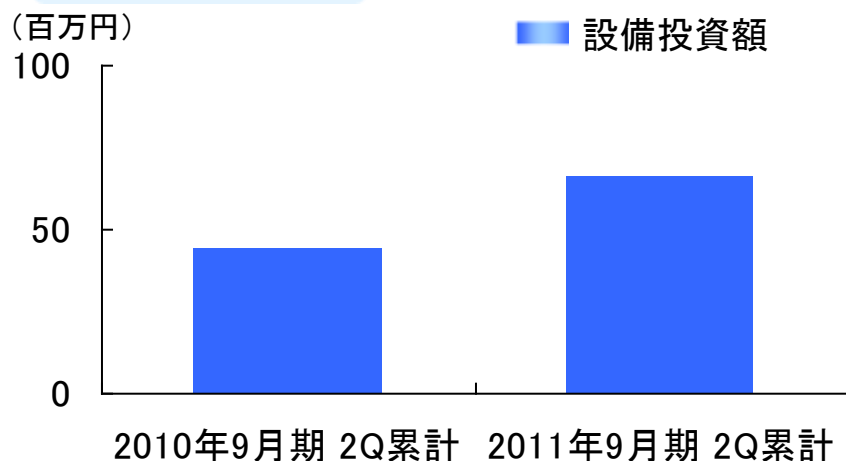
キャッシュ・フローの状況

株式会社アサカ理研

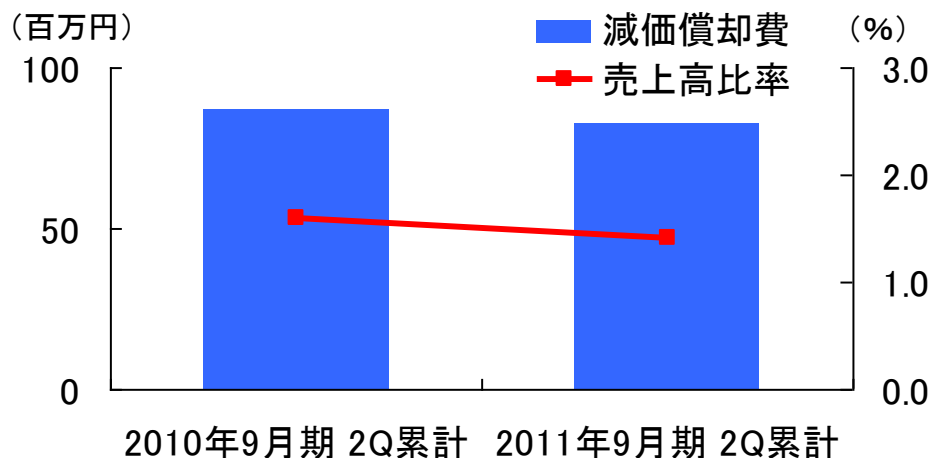


設備投資額

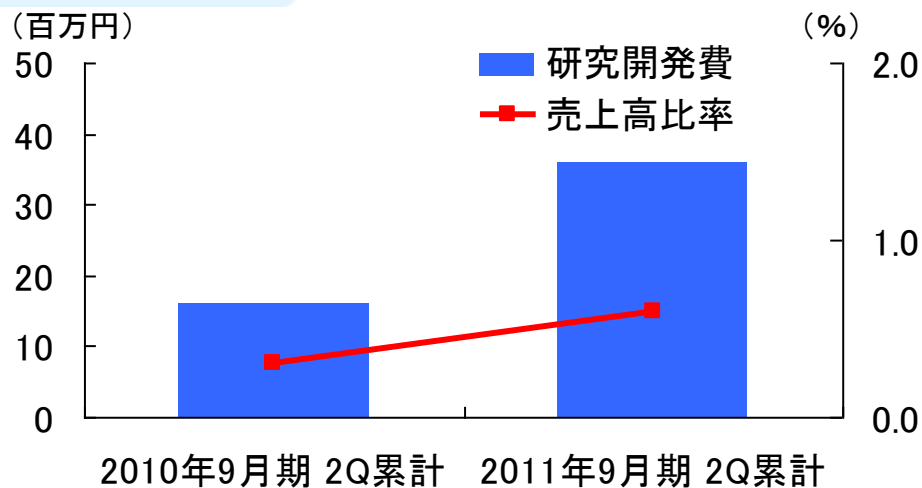
※稼働ベースの投資額



減価償却費



研究開発費



- 第一部 会社概要
- 第二部 2011年9月期第2四半期 決算実績
- 第三部 2011年9月期 業績予想
- 第四部 今後の戦略・研究テーマ

□ 今後の経済・市場環境

- 東日本大震災発生による不確実性の増大
- サプライチェーンの混乱の長期化懸念
- わが国経済の先行きは予断を許さない状況が続くと見込む
- 電子部品・デバイス工業分野の生産回復には時間を要する

□ 貴金属、銅の市況

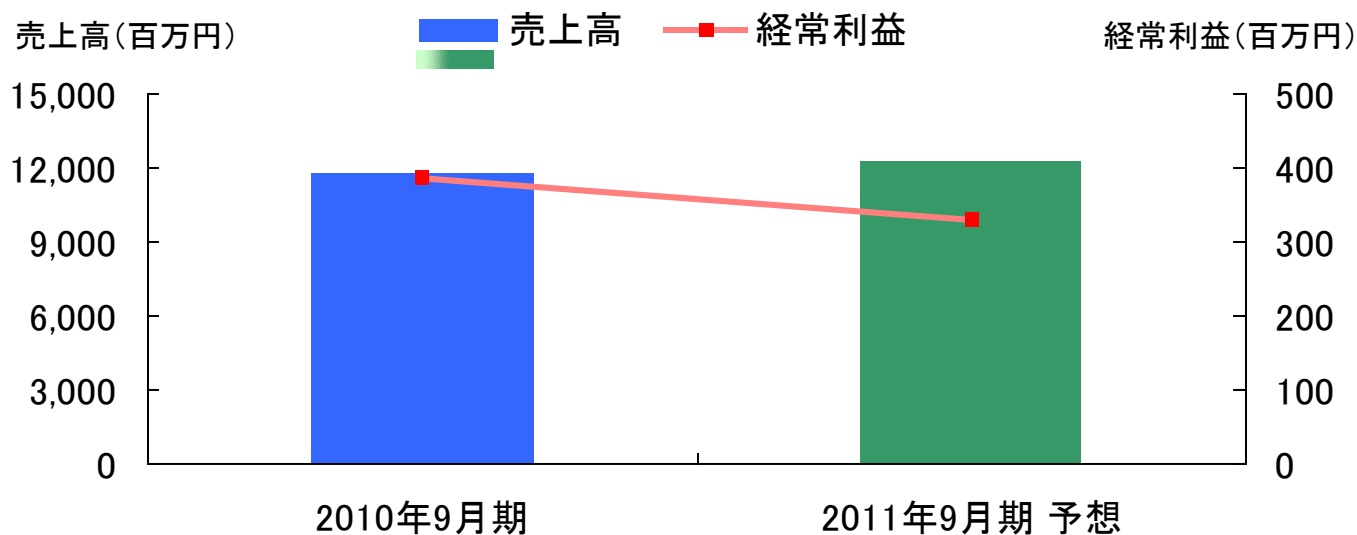
- 貴金属及び銅価格は比較的高い水準で推移すると見込む
- 想定相場は金 3,700円／g、銅 700千円／t
(期初想定は金 3,200円／g、銅 680千円／t)

※2011年5月27日業績予想修正発表

□ 東日本大震災の取引先企業への影響

- 被災地の企業は、地震、津波、物流事情の悪化による影響
- その他の企業にも、サプライチェーンの混乱による影響
- 既存の取引先において、3月～4月で最大50%の減産
- 回復傾向にあるものの、回復の程度は地域や業種によってバラツキあり

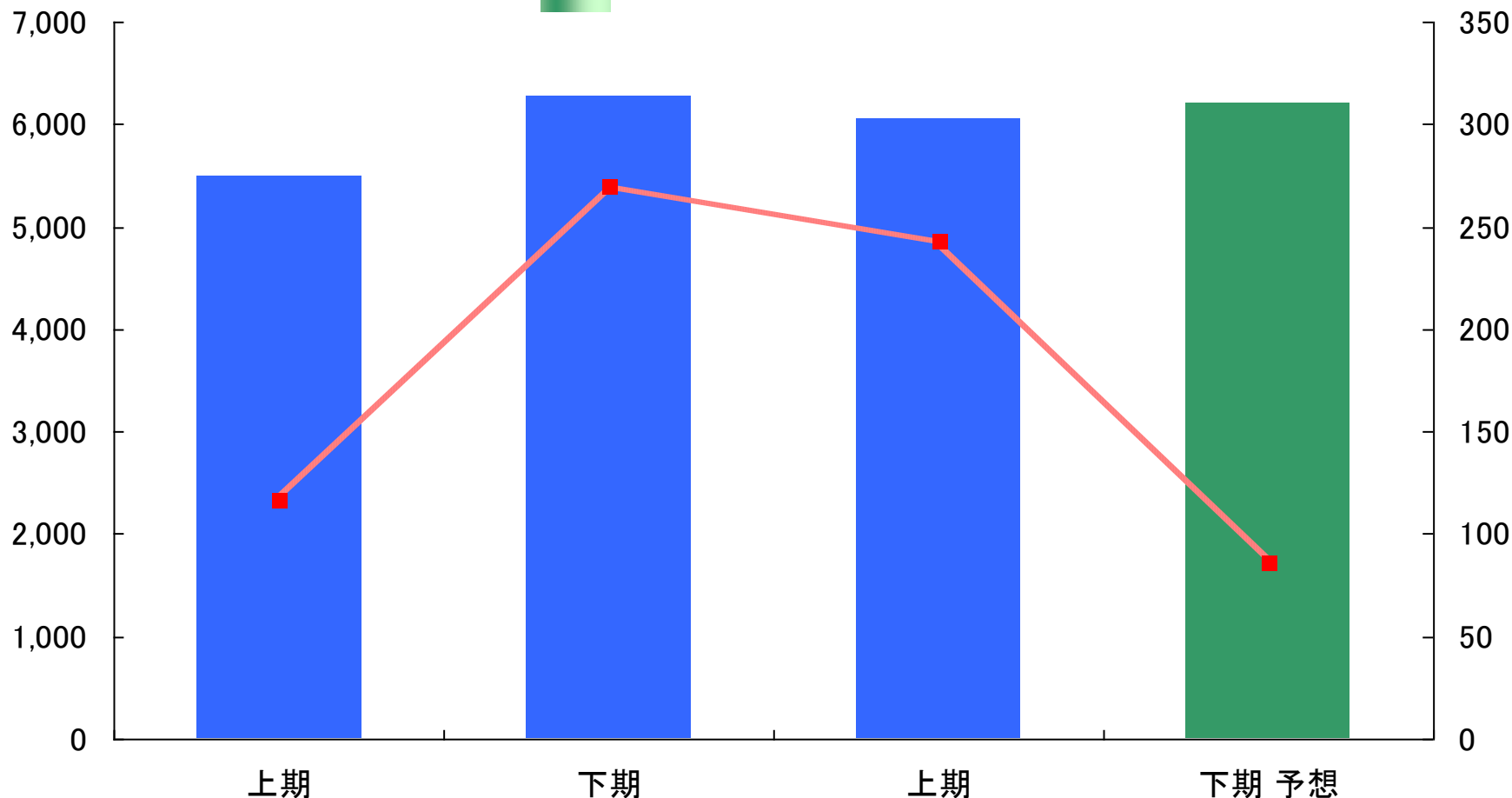
	2010年9月期		2011年9月期 予想			
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売 上 高	11,778	100.0	12,254	100.0	475	4.0
売上総利益	1,594	13.5	1,589	13.0	▲ 4	▲ 0.3
営業利益	415	3.5	369	3.0	▲ 46	▲ 11.3
経常利益	386	3.3	329	2.7	▲ 56	▲ 14.7
当期純利益	181	1.5	67	0.6	▲ 114	▲ 62.7



売上高(百万円)

売上高 経常利益

経常利益(百万円)



2010年9月期

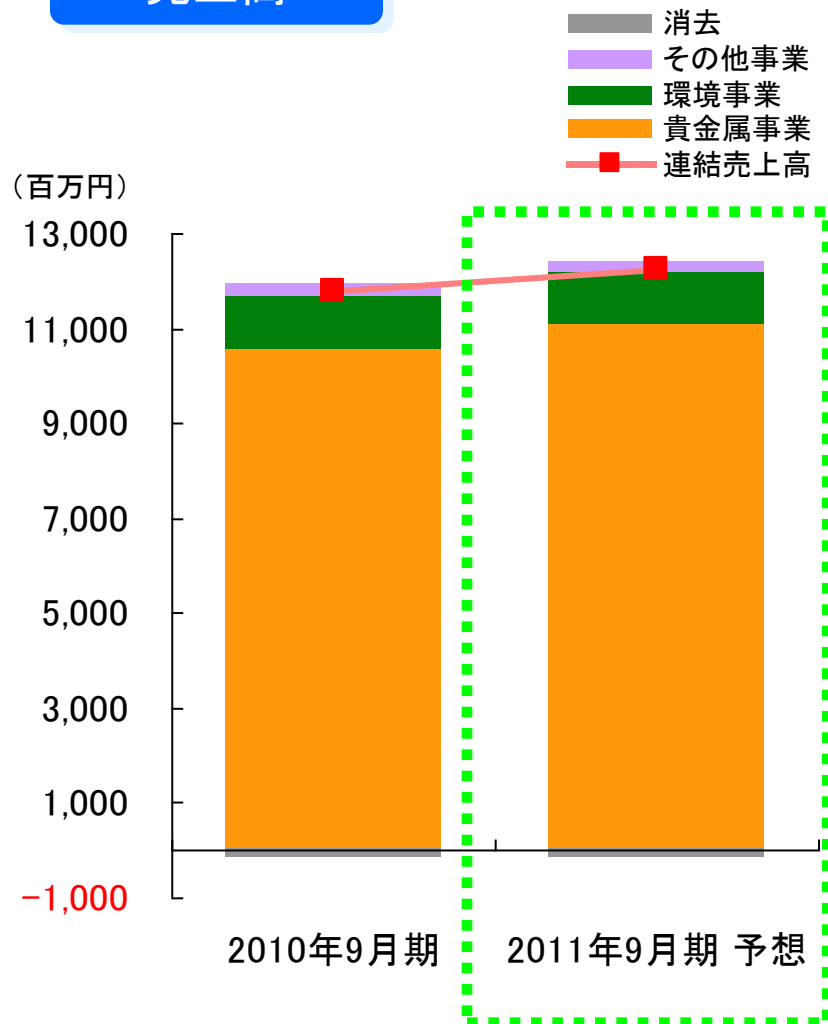
2011年9月期

セグメント別業績予想

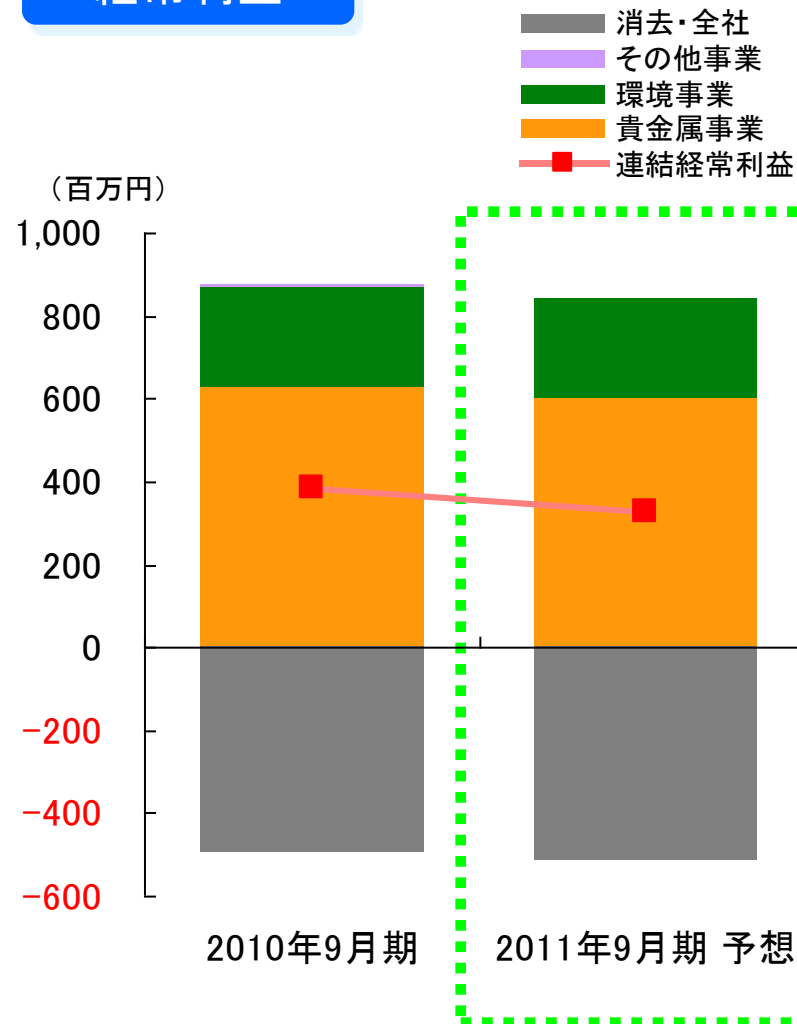
株式会社アサカ理研

	2010年9月期		2011年9月期 予想			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
連結売上高	11,778		12,254		475	4.0
貴金属事業	10,577	88.5	11,117	89.6	539	5.1
環境事業	1,123	9.4	1,065	8.6	▲ 57	▲ 5.1
その他事業	252	2.1	227	1.8	▲ 25	▲ 10.1
計	11,953	100.0	12,410	100.0	456	3.8
消去	▲ 174		▲ 156		18	－
連結経常利益	386		329		▲ 56	▲ 14.7
貴金属事業	632	72.0	599	71.1	▲ 32	▲ 5.2
環境事業	239	27.3	241	28.7	2	0.8
その他事業	6	0.8	1	0.2	▲ 5	▲ 75.9
計	878	100.0	842	100.0	▲ 35	▲ 4.1
消去・全社	▲ 492		▲ 513		▲ 20	－

売上高



経常利益



セグメント別業績予想(半期推移)

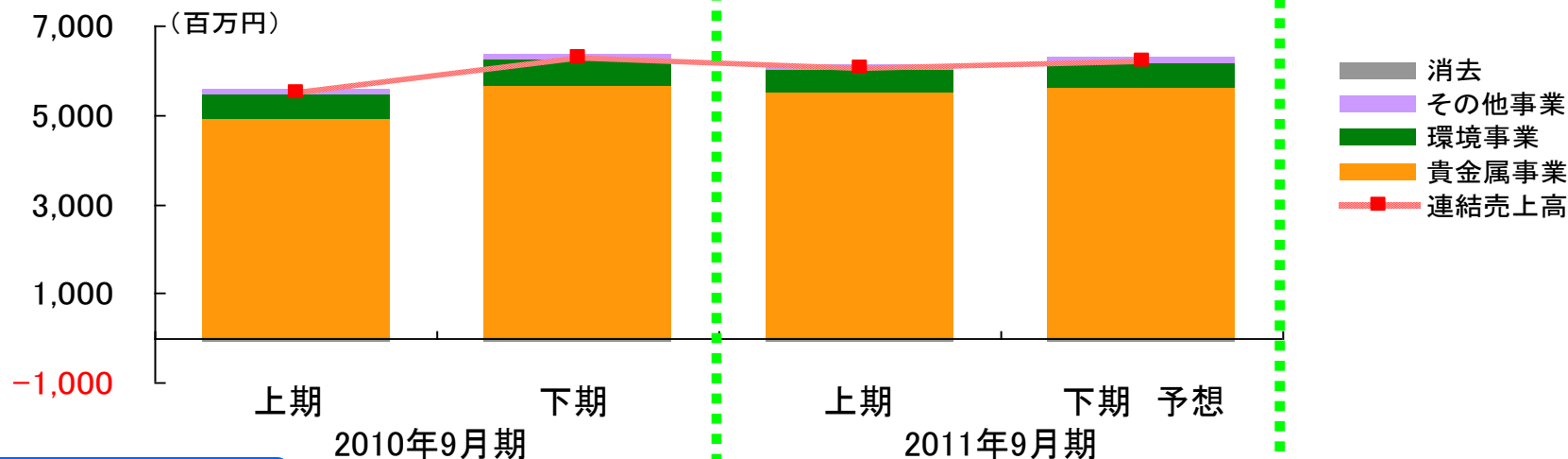
株式会社アサカ理研

	2010年9月期 上期		2010年9月期 下期		2011年9月期 上期実績		2011年9月期 下期予想	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)
連 結 売 上 高	5,500		6,278		6,052		6,202	
貴 金 属 事 業	4,897	87.6	5,679	89.3	5,483	89.4	5,633	89.7
環 境 事 業	566	10.1	556	8.7	528	8.6	536	8.5
そ の 他 事 業	126	2.3	126	2.0	118	1.9	109	1.7
計	5,590	100.0	6,363	100.0	6,130	100.0	6,280	100.0
消去・全社	▲ 89		▲ 84		▲ 78		▲ 77	
連 結 経 常 利 益	116		270		243		85	
貴 金 属 事 業	254	66.4	378	76.2	358	72.2	240	69.6
環 境 事 業	123	32.4	115	23.3	138	27.8	103	29.9
そ の 他 事 業	4	1.2	2	0.4	▲ 0	▲ 0.0	1	0.5
計	382	100.0	495	100.0	497	100.0	345	100.0
消去・全社	▲ 266		▲ 225		▲ 253		▲ 259	

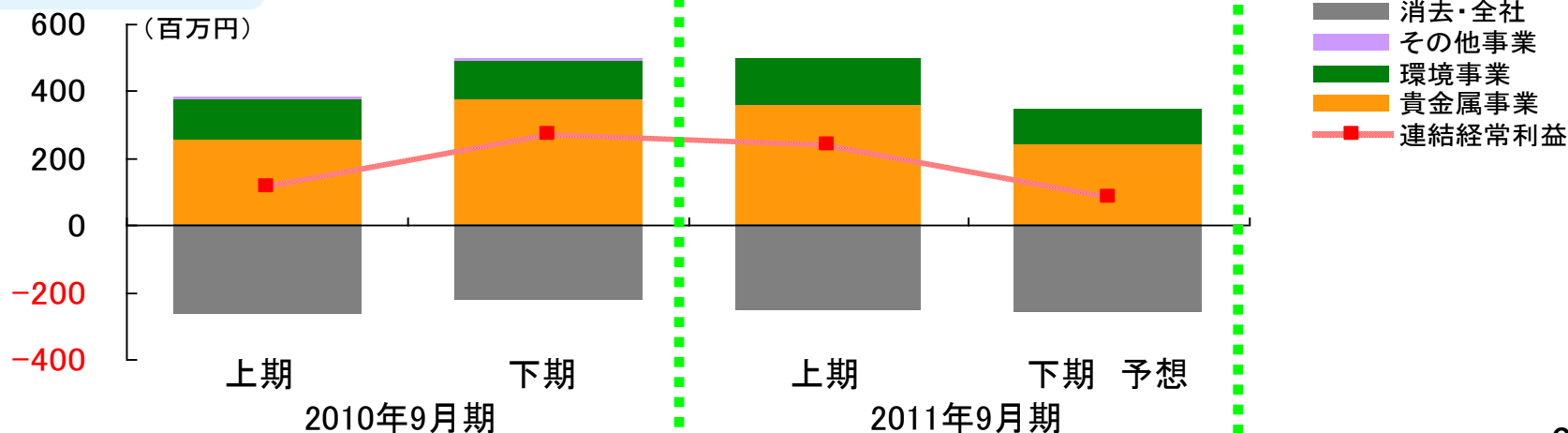
セグメント別業績予想(半期推移)

株式会社アサカ理研

売上高

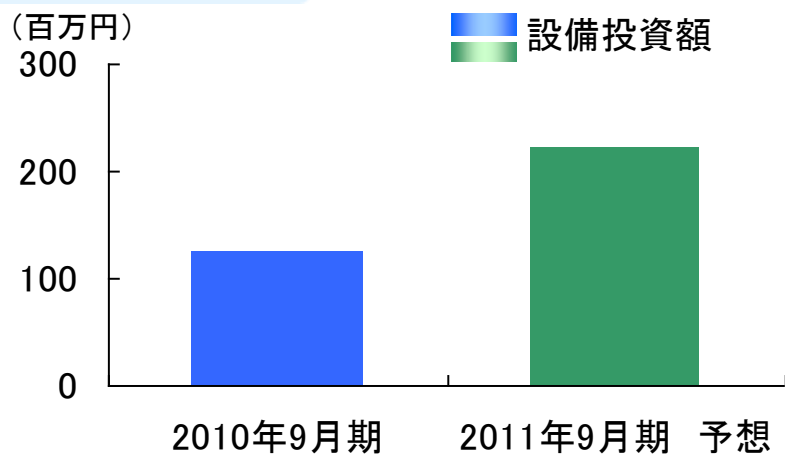


経常利益

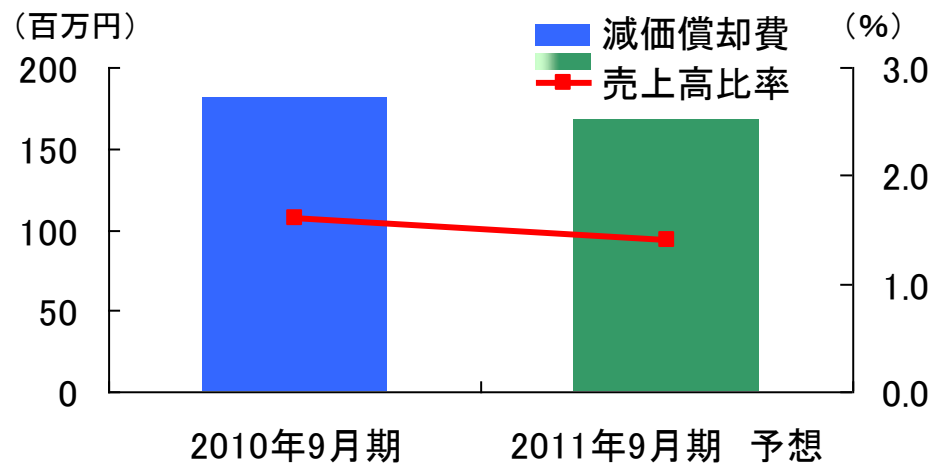


設備投資額

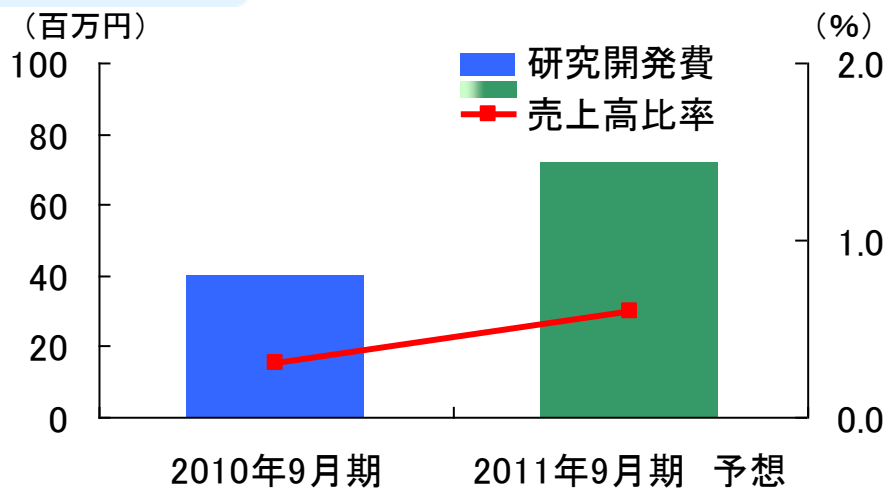
※稼働ベースの投資額



減価償却費



研究開発費

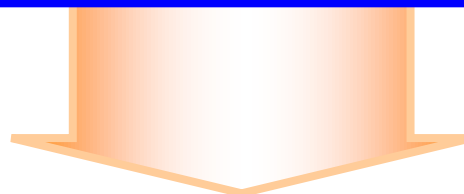


連結損益予想

株式会社アサカ理研

	2010年9月期		2011年9月期 予想			
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売 上 高	11,778	100.0	12,254	100.0	475	4.0
売上原価	10,184	86.5	10,664	87.0	479	4.7
売上総利益	1,594	13.5	1,589	13.0	▲ 4	▲ 0.3
販管費	1,178	10.0	1,220	10.0	42	3.6
営業利益	415	3.5	369	3.0	▲ 46	▲ 11.3
営業外収益	28	0.3	▲ 4	▲ 0.0	▲ 32	—
営業外費用	57	0.5	34	0.3	▲ 23	▲ 39.8
経常利益	386	3.3	329	2.7	▲ 56	▲ 14.7
特別利益	1	0.0	2	0.0	1	124.8
特別損失	46	0.4	151	1.2	105	227.1
当期純利益	181	1.5	67	0.6	▲ 114	▲ 62.7

- 株主様への利益還元
- 将来の事業展開に備えた内部留保の充実
- 業績に裏付けされた成果の配分



1株当り年間配当金の計画

※2011年5月27日修正発表

2011年9月期 15円

(2010年9月期実績 15円)

- 第一部 会社概要
- 第二部 2011年9月期第2四半期 決算実績
- 第三部 2011年9月期 業績予想
- 第四部 今後の戦略・研究テーマ

既存事業の中でも高い成長性が見込める事業

- グリーンデバイスからの貴金属回収、装置洗浄

電子部品・デバイスの生産・金属相場の影響を受けない事業

- 水処理事業の拡大

- 光触媒事業の拡大

電子部品・デバイスの生産の影響を受けない貴金属事業

- 歯科材料からの貴金属回収

- 小電廃基板からの貴金属回収

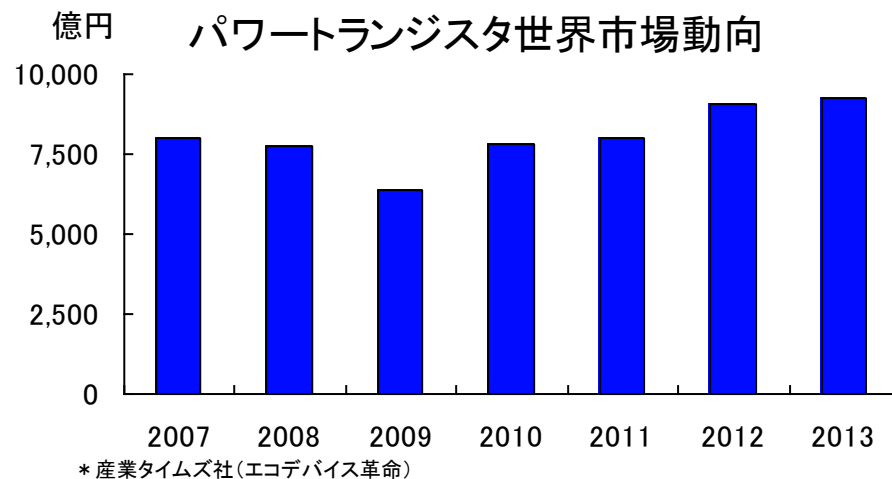
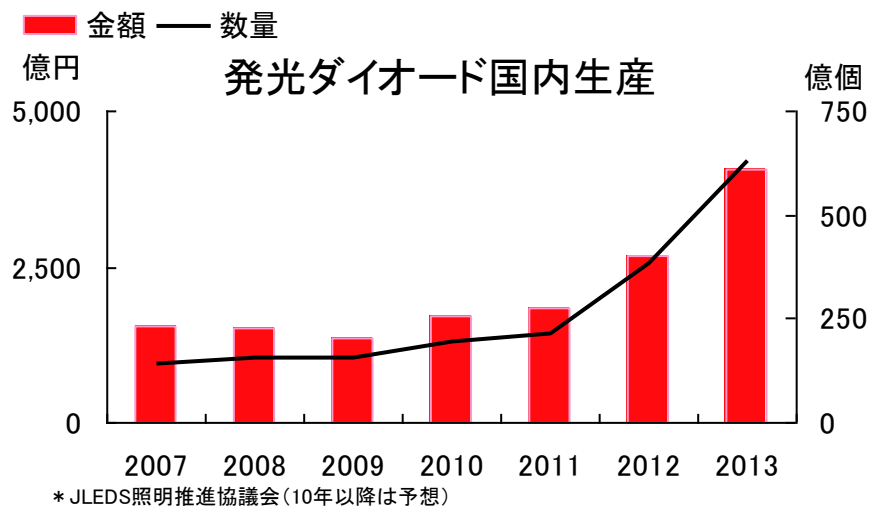
いずれも当社のコア技術を活かせる分野

加えて

生産拠点（洗浄工場）の分散化を検討

グリーンデバイスからの貴金属回収・装置洗浄

今後高い成長性が見込めるグリーンデバイス
(LED、パワー半導体 etc.)



水晶業界の装置洗浄で培った技術を活用し、
成長市場の確実な取り込みを図る

水処理事業の拡大

COD(化学的酸素要求量)除去システム

東京湾、伊勢湾、瀬戸内海などの閉鎖性水域に対する都市排水、工場排水等のCODの排出規制強化に対応した高度処理技術を構築。

- ・大手水処理会社を通じて、大手石油会社より受注。
- ・同システムを製紙会社にて現地テスト開始。
- ・システムに関するPCT特許を出願済み。国内特許への移行手続き中。

船舶バラスト水処理システム

バラスト水による海水中の水生生物の移動による、生態系への影響に配慮。IMO(国際海事機関)による本格的な規制開始を見込み、大手造船会社の処理システムの一部として開発。

- ・共同特許を出願済み。海上実証試験中。
- ・2012年夏より、本格的に事業開始予定。

リン除去システム

将来的な排水中のリンの規制強化に備え、海外の水処理会社と提携して、コスト競争力のあるシステムの構築を目指す。

- ・試験プラントでデータ収集中。

光触媒事業の拡大

■ 太陽電池パネル向け用途の開発

チタニアシリカのガラスへの親和性、透明度、硬度といった特性を活かして、成長分野である太陽電池パネル向け市場への参入を目指す。

■ 防汚用途の開発

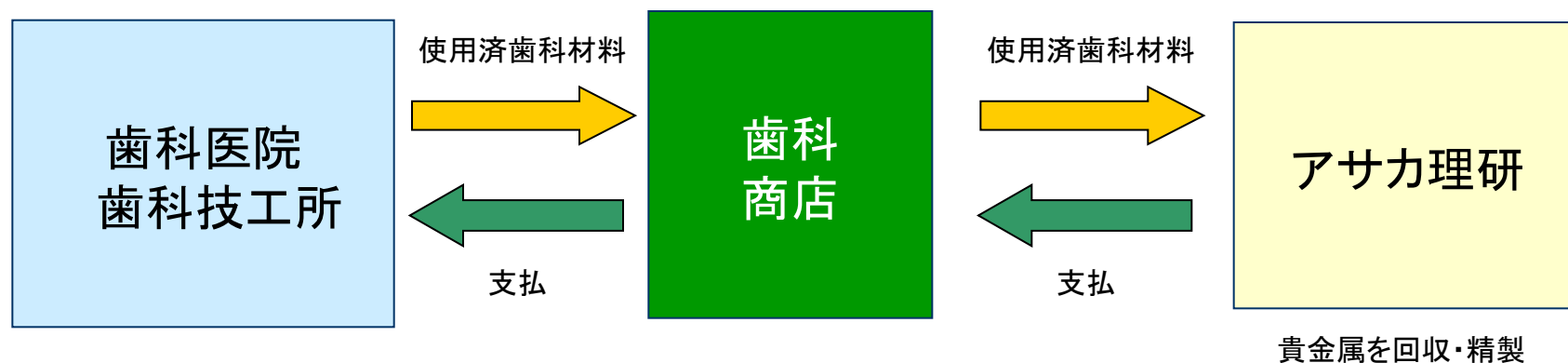
外壁等の建材用途向け光触媒の販売
・当社の要求するレベルの塗装技術を保有した業者を育成し、ネットワークを拡大中



当社製品の特性を活かした、新たな用途開発と市場開拓を継続

歯科材料からの貴金属回収

当社のビジネスモデル ～歯科商店との業務提携～

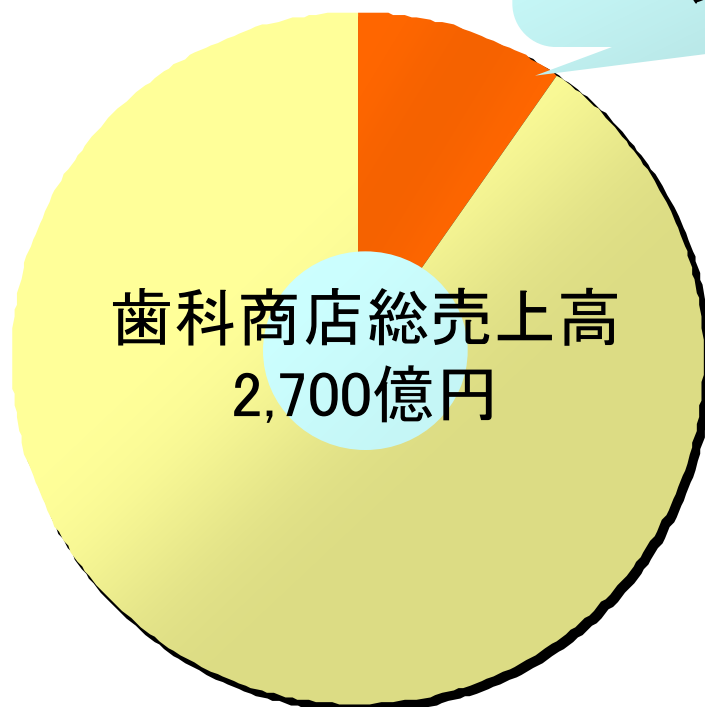


- 歯科医院・歯科技工所へは高い還元率と透明性
→ 顧客満足度向上へつながる

- 歯科商店との業務提携
→ 既存の営業基盤を活用し広く営業活動

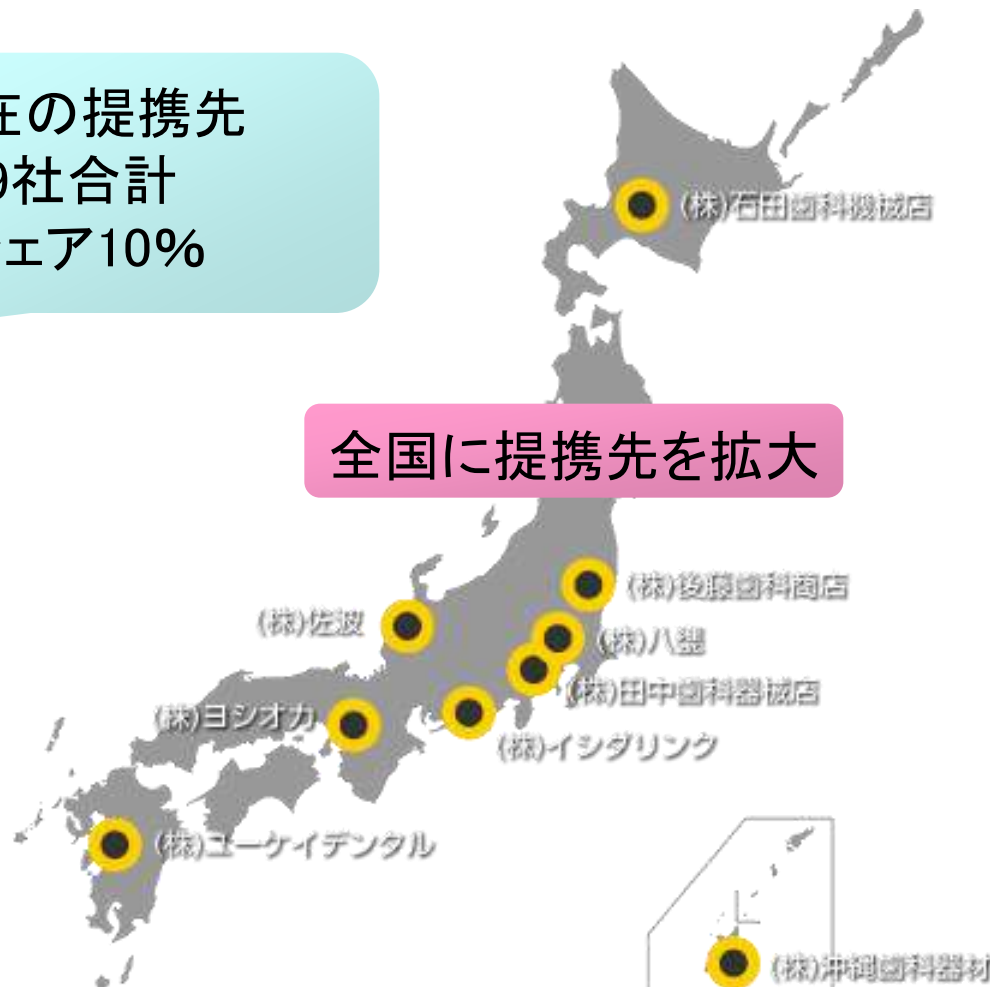
歯科材料からの貴金属回収

業務提携の状況



現在の提携先
9社合計
シェア10%

全国に提携先を拡大



小電廃基板からの貴金属回収

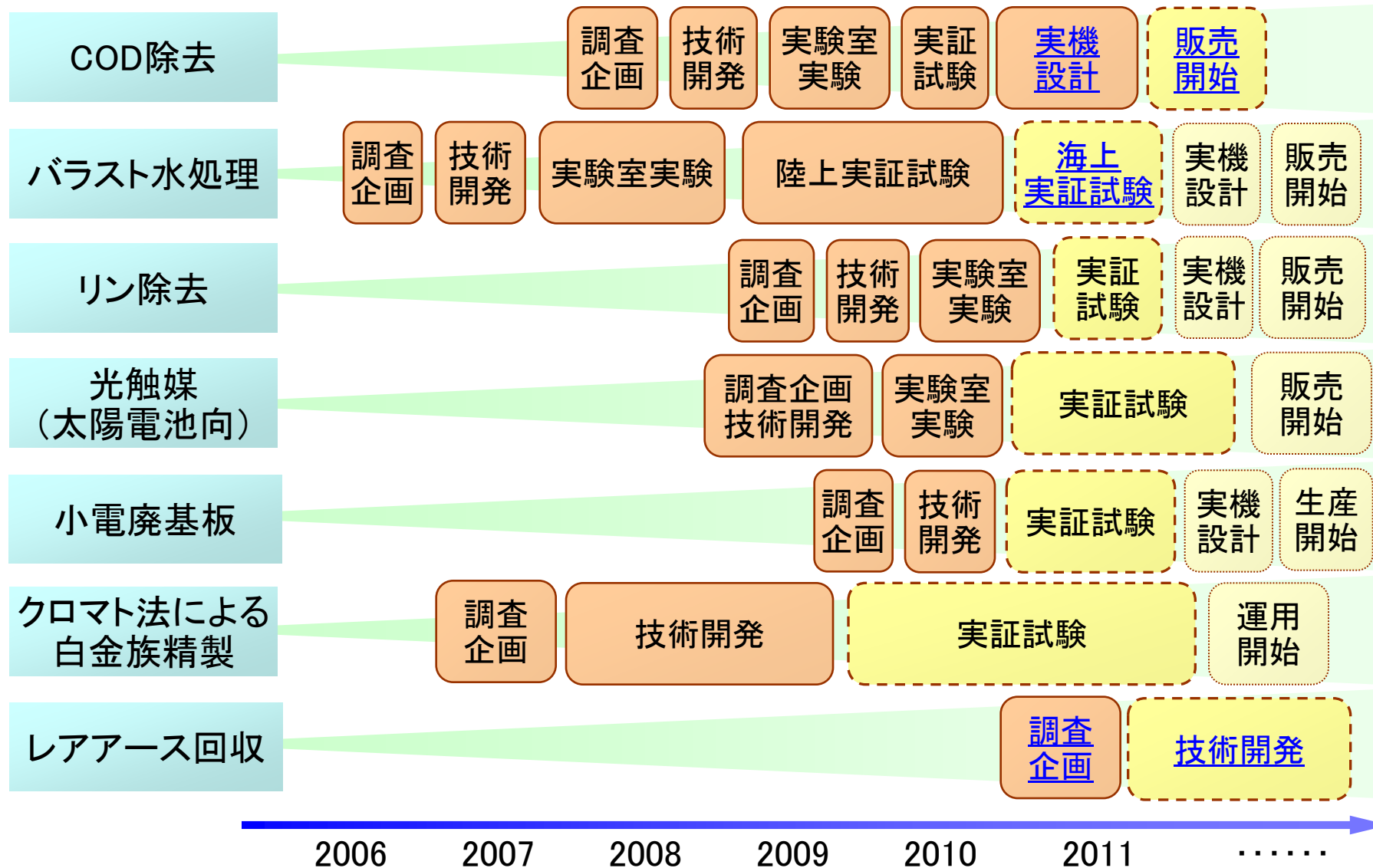
使用済みの家電、電子機器の廃基板からの貴金属回収
⇒解体・分別の効率化が課題



- ①基板から部品を分離する技術
- ②分離した部品に含まれる貴金属を凝縮する技術

当社の特徴を活かした事業展開を見据え、技術確立を目指す

- ①小ロット対応
 - ②短期間での回収
 - ③回収効率向上(低コスト)
- ⇒当事業における強みに



ありがとうございました。



本資料ならびにIR関係につきましては、下記までお願いします。

株式会社アサカ理研 管理本部

TEL : 024-944-4744 FAX : 024-944-4749

E-Mail : ir@asaka.co.jp ホームページ : <http://www.asaka.co.jp/>

資料取扱い上のご注意

このプレゼンテーションで述べられている株式会社アサカ理研の業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものです。

マクロ経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等によっては、大きく変化する可能性があります。

従いまして、実際の業績等が本プレゼンテーションと異なるリスクや不確実性がありますことをご了承下さい。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。

【参考】バラスト水による海水中の水生生物の移動

